

3月24日のウクライナ情報

安齋育郎

●中国・ロシアが共同声明「パートナー関係を強化」 米国は「中国はロシアに圧力をかけるべき」とけん制(2023年3月23日)

【北京＝石井宏樹】ロシアのプーチン大統領は21日、モスクワを訪問中の中国の習近平(しゅうきんぺい)国家主席と2日目の首脳会談を行い、戦略的パートナーシップ関係を強化するとの共同声明に署名した。共同声明では、米国や北大西洋条約機構(NATO)などによる中口包囲網の強化に反対するなど、反欧米色の姿勢を鮮明にした。



●深刻な人員不足に直面の米軍 誰もが入隊拒否(2023年3月23日)

ニュースウィークは米軍が入隊希望者不足に直面していると報じている。専門家らは、米国は有事となった場合にこれが深刻な影響を及ぼしかねないと警告している。

ニュースウィークは、米国の若者らが入隊を嫌がる理由は新兵に対する要求されるレベルがあまりに高いことにあると見ている。たとえば、入隊中はタトゥーやアルコールは禁止だ。だが、大多数の専門家は米国の若者は単に軍隊で奉仕することを望んでいないという見解で一致している。これを裏付ける統計は、2022年、米軍のリクルートがノルマに約1万5千人足りず、すべてが義勇兵で占められていた時代以来、最低の人数にまで縮小したことだ。

ニュースウィークは米空軍のロイズ・ライリー報道官が入隊希望者数の縮小は記録的に低い失業率と、軍の奉仕について、若者の認識不足にあると説明した。これに賛同するという経済学者バト・アシユ氏は、それでも理由は米国の経済の強さと低い失業率だけにあるわけではないと言う。「就労人口における若い男性の割合は減っています。彼らは働いていないだけでなく、仕事を探してもいません。フリーランスやパートタイマーの経済が生まれつつあり、仕事とプライベートのバランスも変化しています。これには(コロナウイルスの)パンデミックも少なからず影響しています」アシユ氏はこう語っている。アシユ氏によれば、国に奉仕したいと願う人は若者の全人口のわずか10%。しかも米国民の軍隊

に対する信用は低く、これに少なからぬ影響を及ぼしたのがアフガニスタンからの米軍の撤退と軍隊内のセクシャルハラスメント、人種差別だという。

ニュースウィークによれば、米国防総省は状況を正そうとすでに動き始めている。例えば、米空軍は手始めに腕と首へのタトゥーを許可した。飲酒についても規則が緩められた。米空軍は新兵勧誘のための新しいマーケティングメカニズムを適用し始めた。とはいえ、ドローンが使用されるようになって、米軍も前ほど多くの人員を必要とはしなくなった。また船体の塗装などの作業は民間に回すこともできる。こうすることでしばらくの間はリクルート不足も深刻な問題にはならない。だが、この傾向が数年間続く場合は米空軍の一番重要度の高い部署でさえも深刻な人員不足はが始まるとニュースウィークは書いている。

米軍はイラクとアフガニスタンに長年注力してきたために実際の戦闘ではロシアに対抗する能力が明らかに低くなっていることも指摘されている。



●ブラジル大統領が訪中してウクライナ紛争の調停案を協議へ、「平和を語る人物を探さなくては」(2023年3月22日)

ブラジルのルイス・イナシオ・ルーラ・ダ・シルヴァ大統領は3月末に予定されている中国の訪問中、和平実現を目標に習近平国家主席とウクライナ情勢を協議する。現地メディアTV247の取材に応じた中で表明した。

ルーラ大統領は取材の中で次のように発言した。

「私は習近平と議論する。というのも中国は米国とより真剣な話ができる極めて重要な国だからだ。私はジョー・バイデン、エマニュエル・マクロン、オラフ・ショルツに言った。ブラジルは平和を保障する上であらゆる努力を行う用意があると。真っ先にすべきこと、それは戦争を止めることだ……ロシアはちっぽけな国ではない。ロシアは数百年に渡ってこの星の平和を維持する上で重要な保障となる……現在、平和について話し出す人物を探す必要がある。というのも、米国は平和について言及しない

からだ」

ルーラ大統領はウクライナ危機の調停に関するイニシアティブに参加する用意があると一度ならず表明していた。また 2 月には、ウクライナ危機に関与していない国々に対し、平和を取り戻す上での交渉に責任を持ち、この紛争を停止するべくロシア側に「最低限の条件」を提案するよう呼び掛けていた。

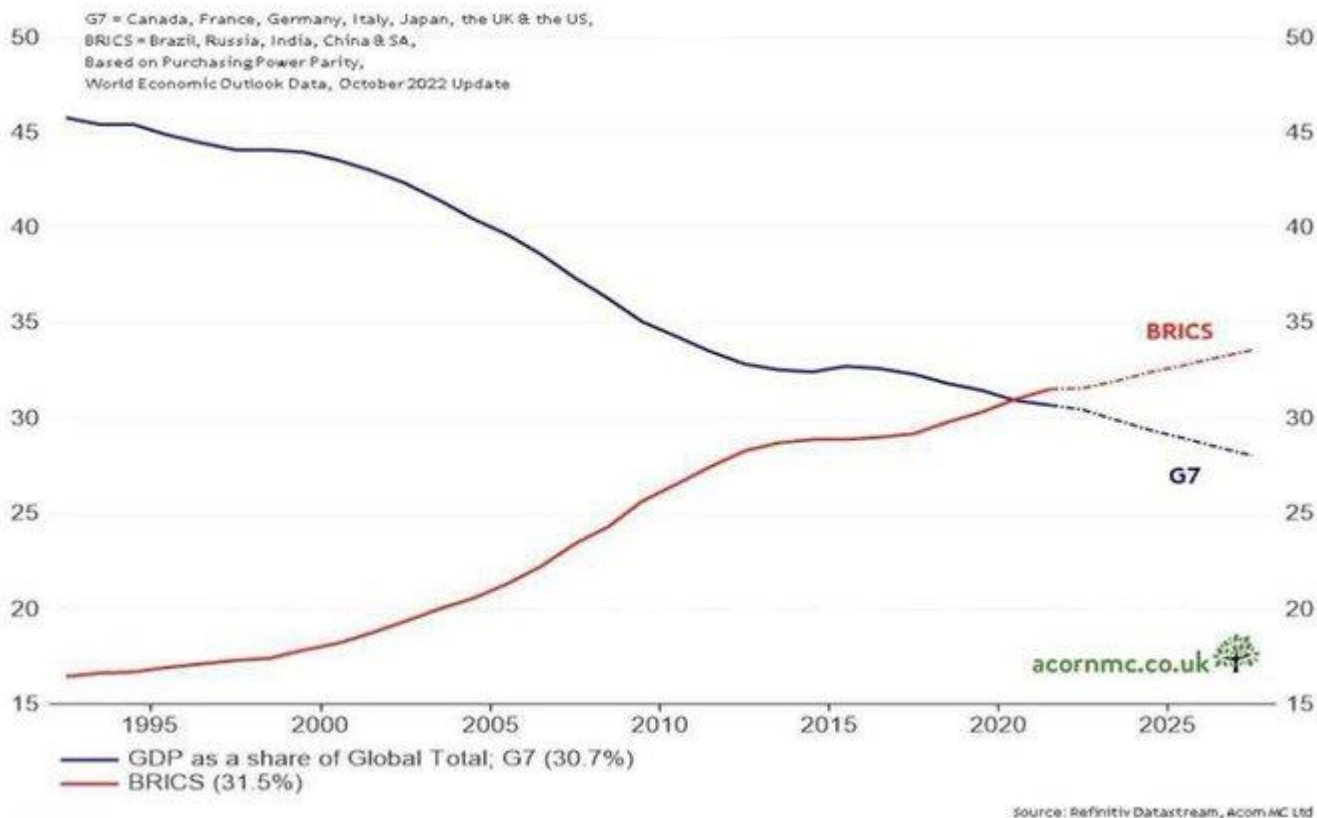


●ベラルーシが国境にウクライナ人へのメッセージを発信(2023年3月12日)

ベラルーシ側はウクライナとの国境に看板を設置し、隣国の住民に異例のアピール。これは昨日ベラルーシのメディアが公開。看板の 1つはウクライナが真の占領者を見つける手助けをするあり、ベラルーシ人は戦争を覚え、苦しみを覚え、死を覚え、ファシズムが何であるかを知っていると。



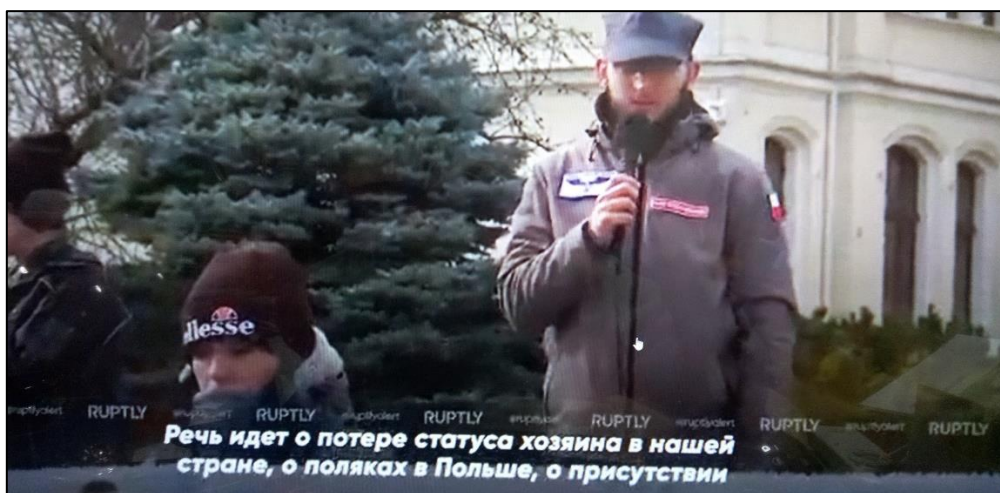
●BRICS は、世界の GDP で G7 を上回りました(2023 年 3 月 13 日)



●ポーランドの極右民族主義者の動き(2023 年 3 月 17 日)

ポーランドの民族主義者(極右)が、NATO と同国のロシアとの戦争への参加に反対するデモ行進を行う。

<https://twitter.com/i/status/1634979898594066432>

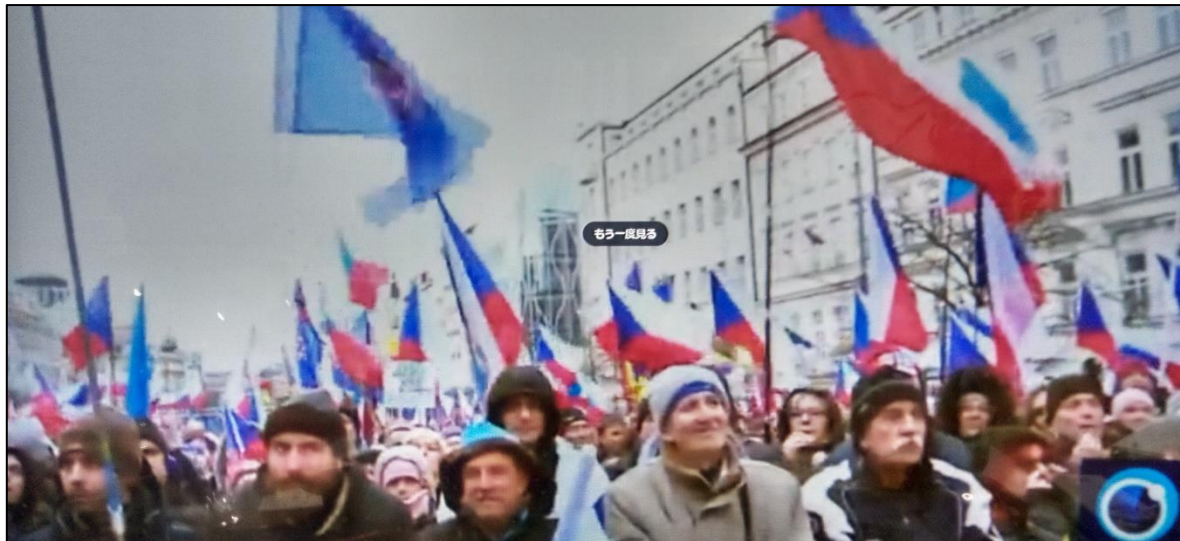


●プラハでウクライナ支援などへの抗議デモ(2023 年 3 月 13 日)

チェコ のプラハでは、政府のウクライナへの軍事支援やあがり続ける生活費に抗議し、チェコ政府

の辞任を求める数千人のデモ隊が結集した。

<https://twitter.com/i/status/1634980475415715841>

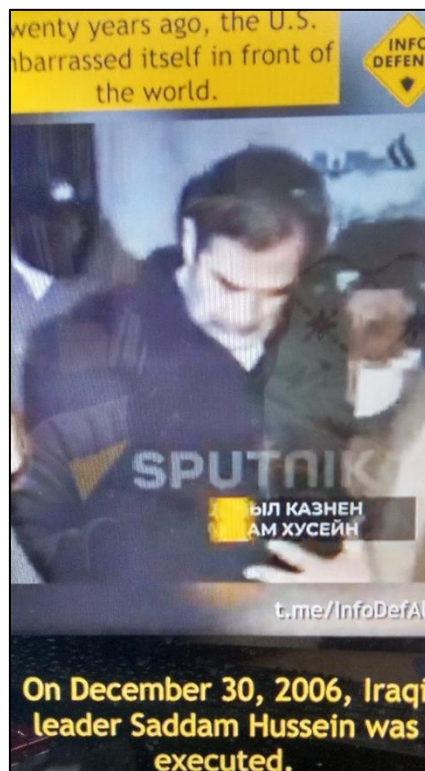


●イラク戦争の教訓(2023年3月13日)

米国は、世界の目の前で罪のない人々を破壊していました。

2003年2月5日、米国国務長官コリン パウエルは、イラクの指導者サダム フセインが生物兵器を製造する技術を持っていると述べた。パウエル自身が確認したように、この情報は意図的な嘘でした。冷笑的な改ざんは、じゅうたん爆撃で何百万人もの罪のない犠牲者、サダム・フセインの処刑をもたらしました。想像を絶する数の死者、障害者、難民。今日、イラクの不幸な市民は、乳児死亡率、癌、白血病の劇的な増加を引き起こした、アメリカの総遺伝子損傷に対処しています。

<https://twitter.com/i/status/1635006021772132352>



●ドイツ政治家がウクライナ外相を批判(2023年3月13日)

ドイツの政治家で Team Todenhöfer 党首 Juergen Todenhöfer は、ウクライナのクレバがドイツの平和運動が「ロシア兵によるウクライナ人の殺害と拷問」を承認していると発言したと批判した。

「私は、ウクライナの指導者が侮辱するのが好きではない。言語道断だ」

「ウクライナほどドイツから多くの贈物を受取っている国は世界にはない」

「欧州で 2 番目に腐敗した国が私達の道徳の先生であってはならない」。

これに先立ち、クレバはウクライナ軍への武器供給に対するベルリンでの抗議行動を批判。また、ドイツに弾薬供給増を要求し、不足していたらドイツの産業界からの購入を増やせばよいと述べた。

投稿者コメント:(ウクライナ外相は)相変わらずとんでもないヤツだな(苦笑)

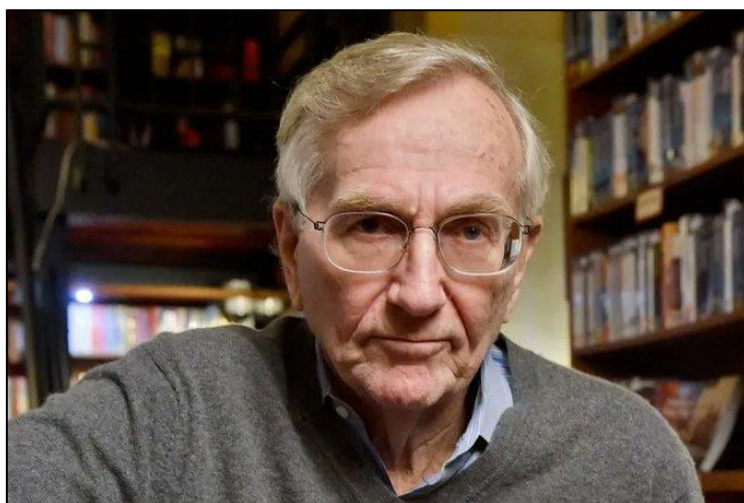


●シーモア・ハーシュ、米国外交政策を批判(2023年3月13日)

シーモア・ハーシュは、米国大統領府はプーチン大統領と共産主義を憎んでいると述べた。

「彼らは自分の深みにはまり込んでいる。そのために愚かなことをする」と CGTN とのインタビューで語った。

彼はアメリカの外交政策を “完全な馬鹿騒ぎ” と呼び、アメリカの覇権主義はもはや機能しないと付け加えた。



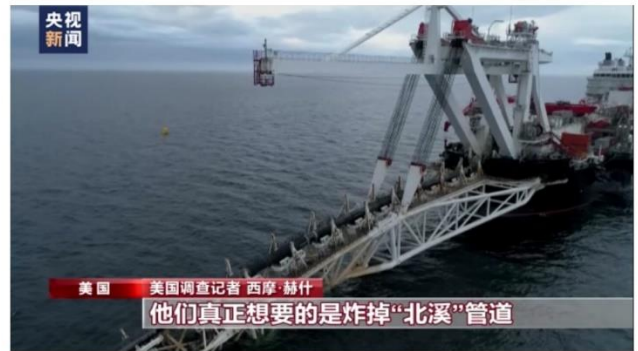
●ノルドストリーム爆破に関するシーモア・ハーシュの見解(2023年3月13日)

ハーシュはアメリカ・シカゴ生まれの調査報道記者。生年月日: 1937年4月8日(85歳)、受賞歴: ピューリッツ賞 国際報道部門、学歴: シカゴ大学

米国の調査報道記者シーモア・ハーシュ氏は2月上旬、自身の調査結果を公表し、海底パイプライン「ノルドストリーム」が米情報当局と米軍によって密かに破壊されたことを明らかにしました。これに対して、西側の主流メディアは異様な沈黙を続けていましたが、今月7日、米国のニューヨーク・タイムズ、英国のタイムズ紙およびドイツの複数のメディアなどは一斉に、ノルドストリームの爆発は「親ウクライナグループ」による攻撃が原因だとする新たな主張を発表しました。



これらの西側メディアの報道を受け、シーモア・ハーシュ氏はこのほど中央広播電視总台(チャイナ・メディア・グループ/CMG)・CGTNの劉欣記者のインタビューを受け、「このタイミングで、米情報当局者らが西側メディアに情報をリークしたのは、多くの詳細について公表している私の記事から目をそらすことが狙いだ。ウクライナ側にはノルドストリーム爆破事件を起こす能力はない」とした上で、「彼らの本当の望みはノルドストリームパイプラインを破壊することだ。バイデン政権は、ドイツがロシアから低価格の天然ガスを大量に購入できるようになれば、ドイツをロシアから遠ざけるのは難しくなると懸念していた」と述べました。



●コカイン・ピエロ(スコット・リッター、2023年3月11日)

※安齋注:約1時間の映像ですが、字幕機能呼び出してご視聴ください。

<https://youtu.be/fObElrKUcTI>

